



日野市が取り組む気候市民会議について

1860

1890

1920

1950

1980

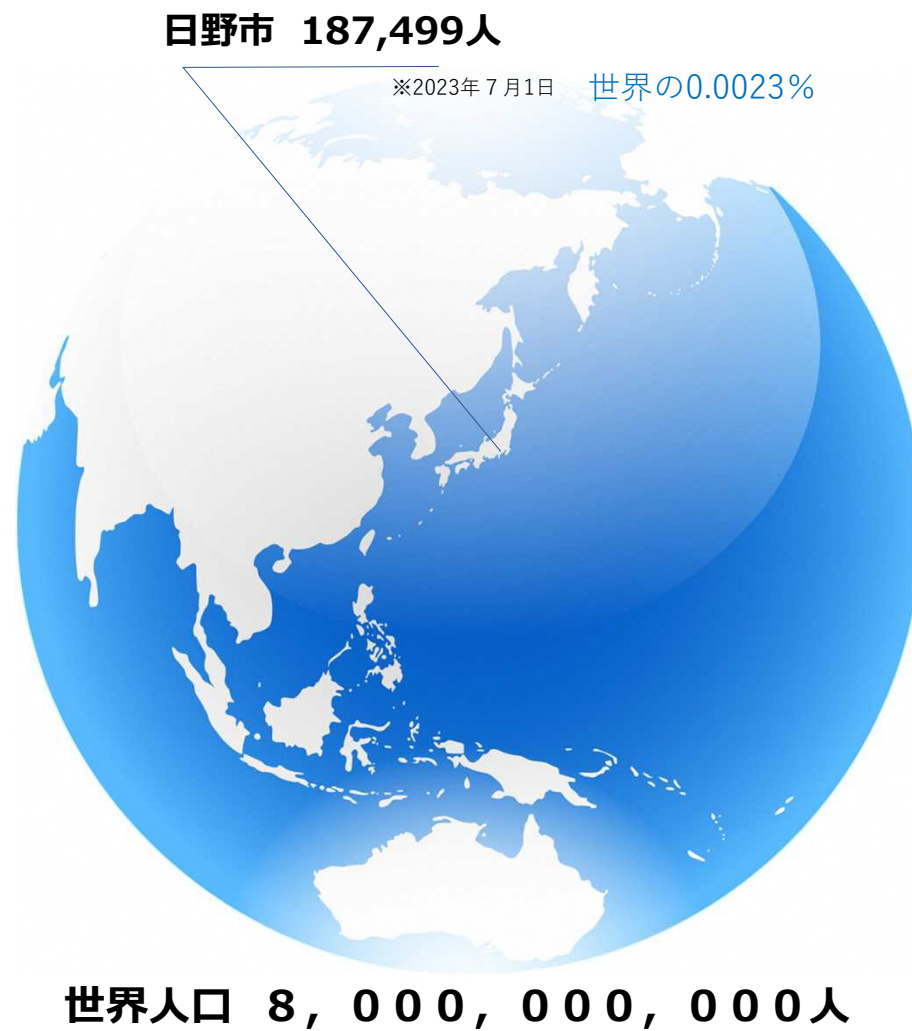
2010

環境保全課長 中平 健二郎

2023年8月6日 第1回気候市民会議



何故？気候変動というグローバル課題に地域が取り組むの？



※2022年11月15日の推計値

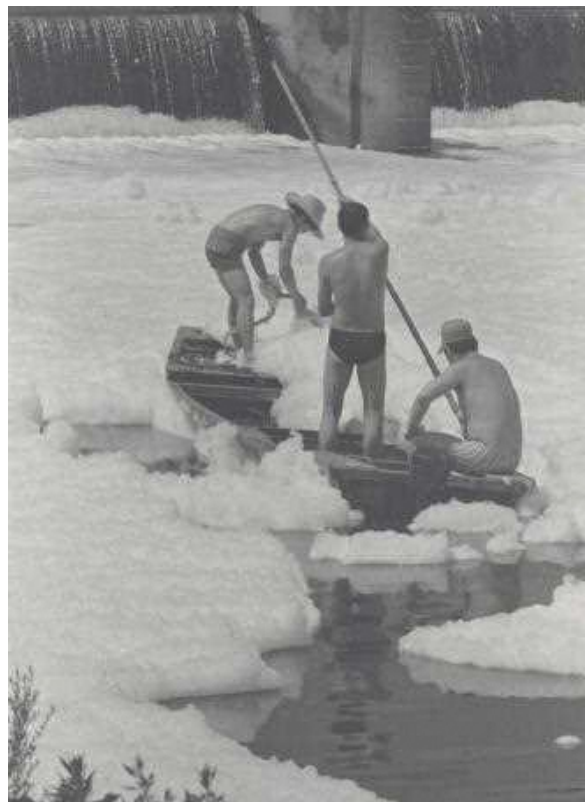
『世界人口推計－2022年改訂版－（World Population Prospects, the 2022 Revision）』

高度経済成長期

自治体が取組んできた公害問題への対策



1950～60年代の日本（公害問題）



生活排水の汚染で泡立つ多摩川
(東京都資料より)

工場の煤煙で曇る川崎市の空（川崎市資料より）



大腸菌も住まない死の海と言われた北九州の洞海湾（北九州市資料より）



高度経済成長期は工場煤煙や化学物質の廃棄が日本各地で公害病を生み、多くの人が苦しみました。

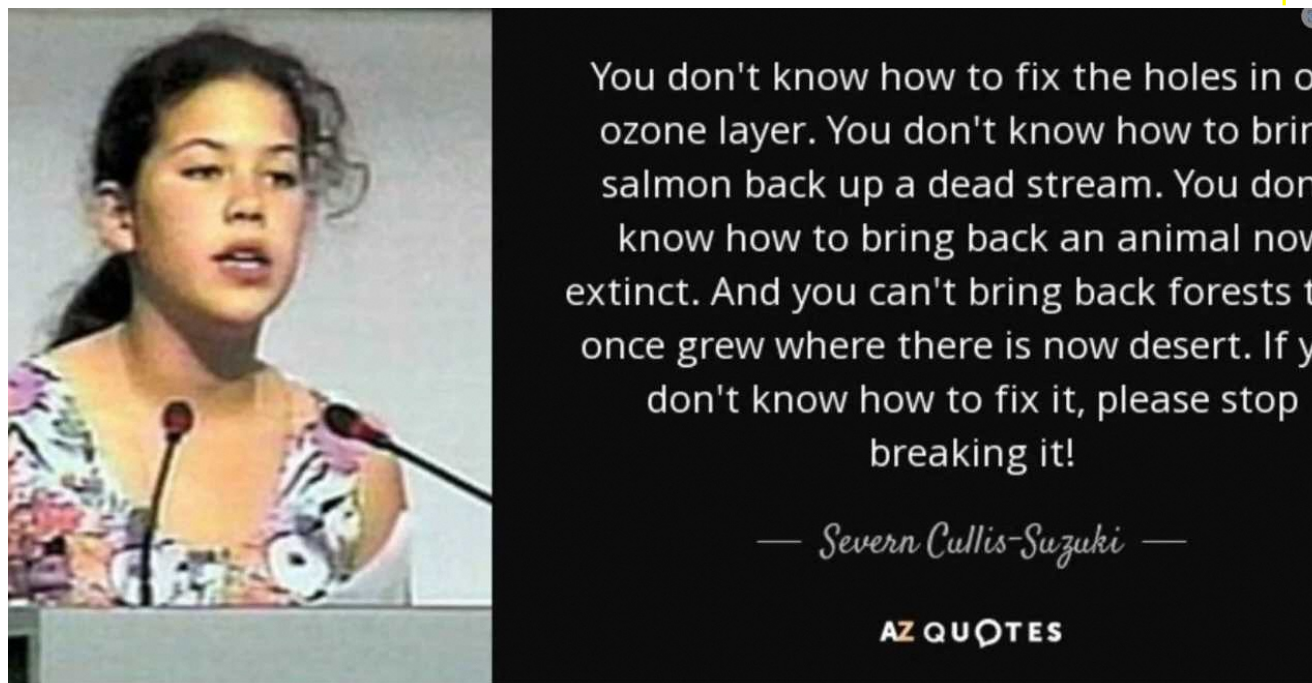


1970年代～1990年代 地球環境問題への関心が高まる

1992年 リオでジャネイロで初の「地球環境サミット」が開催

セヴァン・スズキの伝説のスピーチ(1992年)と変わらなかった世界の30年間

1992年



1992年、リオデジャネイロで開催された環境サミットで、子どもの環境団体の代表として12歳で環境問題のスピーチを行い、大人たちはその間沈黙して聞き入った。そのスピーチは「伝説のスピーチ」と言われ、彼女は世界的に有名な子どもになったが、環境問題はさらに深刻になり、また同じように世界のリーダー達は子どもから**大人としての社会的責任**を追及されている。

ス教授

産業革命から現在まで、世界の平均気温の偏差



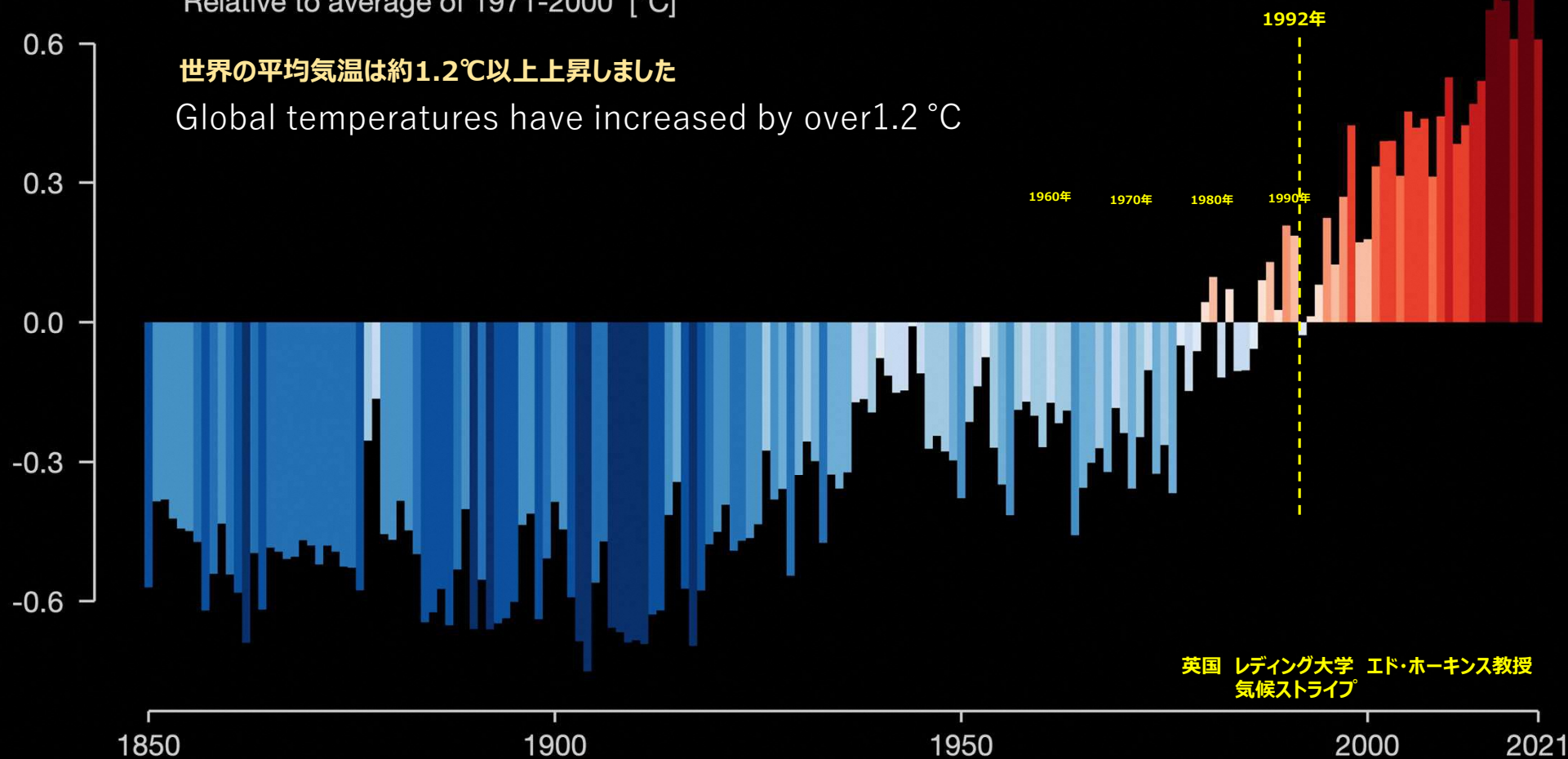
地球の気温の変化

Global temperature change

Relative to average of 1971-2000 [°C]

世界の平均気温は約1.2°C以上上昇しました

Global temperatures have increased by over 1.2 °C



英国 レディング大学 エド・ホーキンス教授
気候ストライプ

7月の猛暑、観測史上最高に ほぼ確実に「12万年ぶりの暑さ」

CNNの報道より



© 2023.07.28 Fri posted at 10:41 JST 天候図（速報値） -----

統計期間： 旬別値 ▾

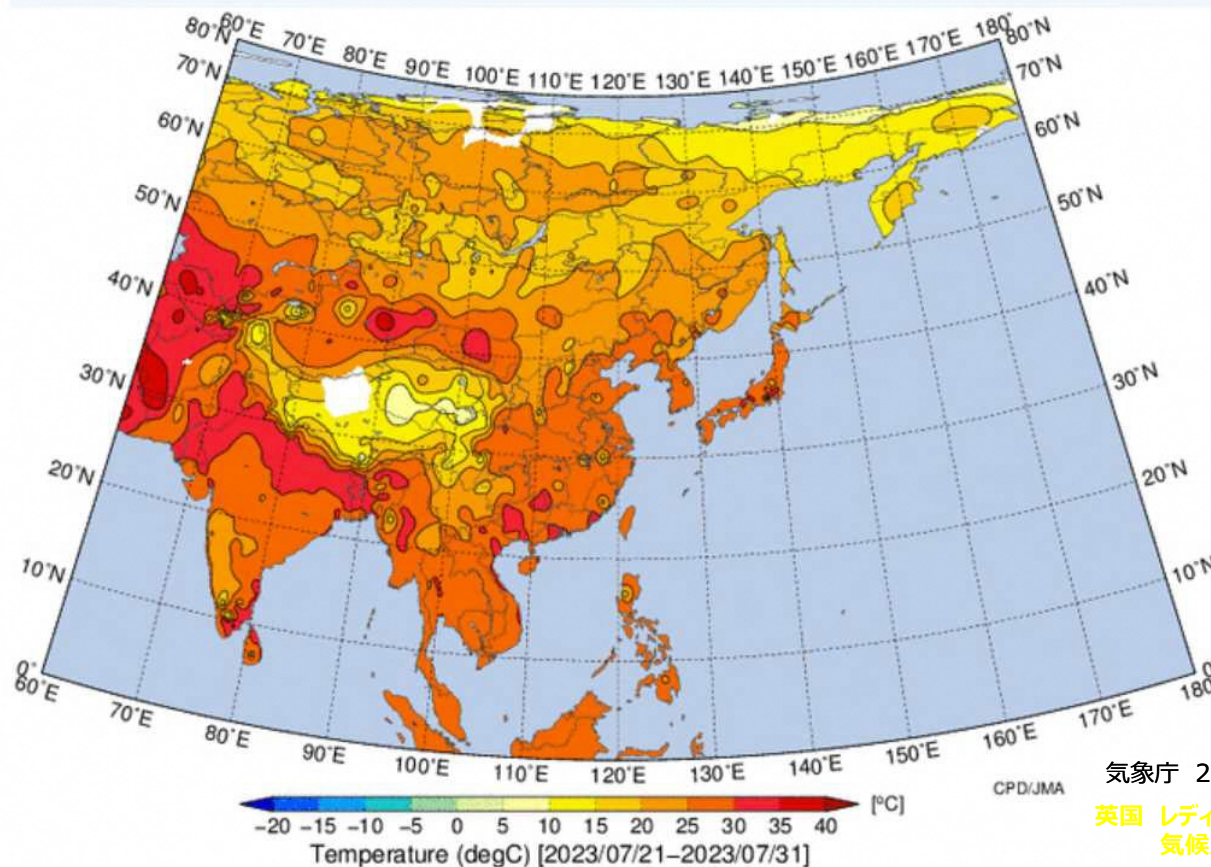
対象期間： 2023年07月下旬 ▾

要素： 平均気温 ▾

地域： アジア ▾

描画： 分布図 ▾

[>>>拡大図の表示<<<](#)



気象庁 2023年地域別の天候図

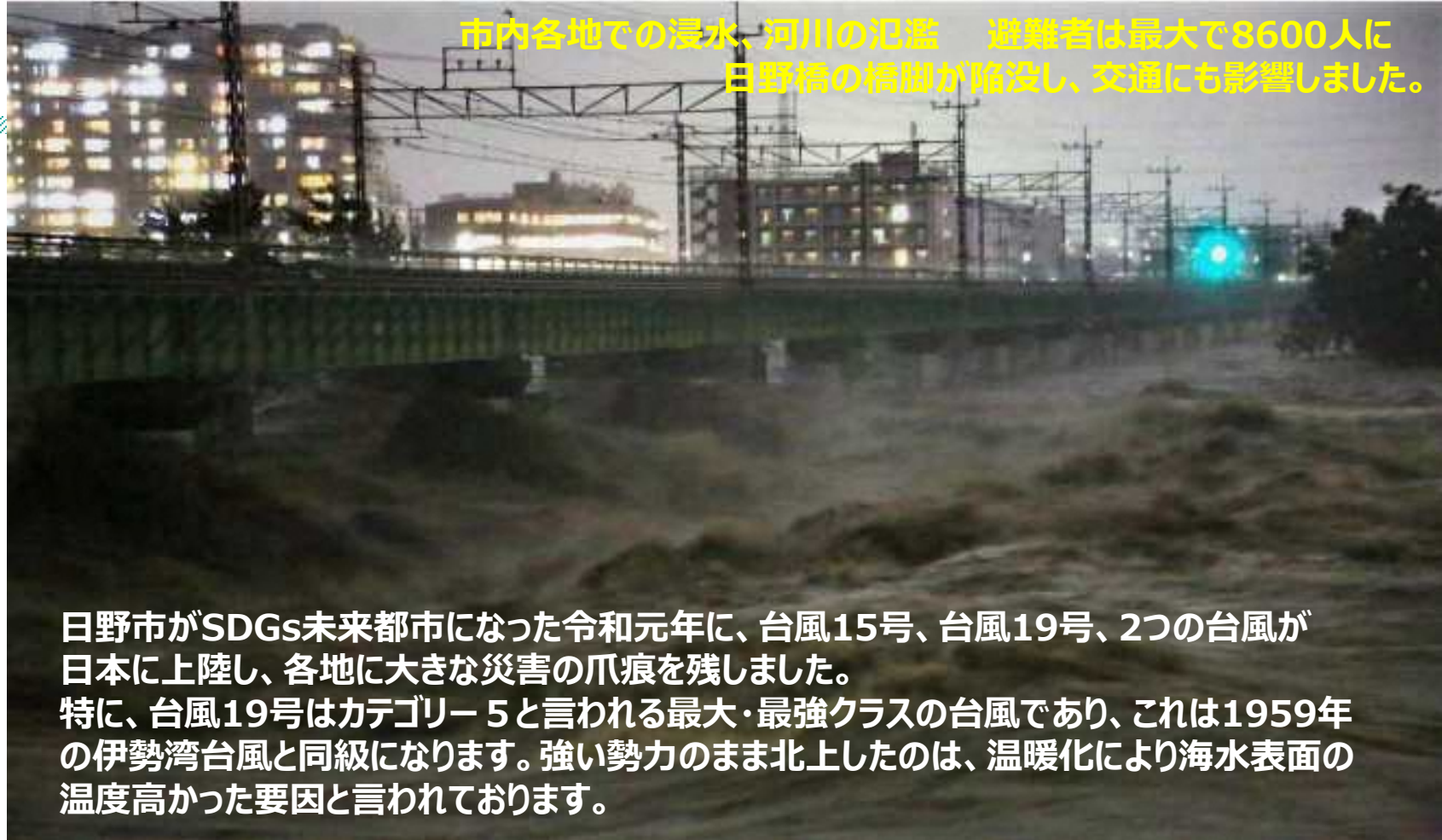
英国 レディング大学 エド・ホーキンス教授
気候ストライプ

欧州連合（EU）のコペルニクス気候変動サービスと世界気象機関（WMO）が7月27日に、2023年7月は観測史上で最も暑い月になる見通しと発表した。



令和元年10月 台風19号（ハギビス）の影響

市内各地での浸水、河川の氾濫 避難者は最大で8600人に
日野橋の橋脚が陥没し、交通にも影響しました。



日野市がSDGs未来都市になった令和元年に、台風15号、台風19号、2つの台風が日本に上陸し、各地に大きな災害の爪痕を残しました。
特に、台風19号はカテゴリー 5と言われる最大・最強クラスの台風であり、これは1959年の伊勢湾台風と同級になります。強い勢力のまま北上したのは、温暖化により海水表面の温度高かった要因と言われております。

地球規模の課題と地域の役割 気候変動の原因と被害



地球環境

地球温暖化

水質汚染

海洋汚染

大気汚染

森林破壊

社会環境

経済要因

社会要因

環境要因

地域環境

生活

自然

労働

教育

操業

自然

生活環境

騒音

悪臭

生活利便

振動

ワタシ



持続可能な社会の実現に向けて SDGs未来都市日野

2019年7月 日野市は都内初のSDGs未来都市に



2019年7月1日付で選定



令和元年度SDGs未来都市選定自治体

※県が選定されている場合は県全域を着色。





日野市の気候変動に関する施策について

2021年（令和3年度）

第3次環境基本計画 第4次地球温暖化対策実行計画 策定

第3次日野市環境基本計画



全ての環境分野に係る基本計画

第4次日野市地球温暖化対策
実行計画



CO2排出ゼロ、気候変動に対応する
具体的取り組みを推進する計画

2030年 CO2 マイナス46%

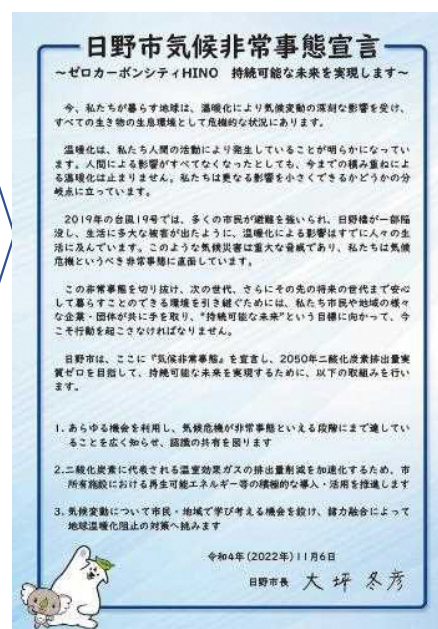
2050年 CO2排出実質ゼロ

※ いずれも基準年（2005年）比
現時点では-25.8%

2022年（令和4年度）

「気候非常事態宣言」の発出 パートナーシップでの取り組みを呼びかけ

目標実現に向けた決意表明として、2022年1月6日
開催の日野市環境フェアにおいて「日野市気候非常事態
宣言」を発出



2022年1月6日
日野市環境フェア



CO2削減目標に向けた
パートナーシップによる
地域体制を「呼びかけ」



気候変動に対応する日野市の『諸力融合』の枠組み

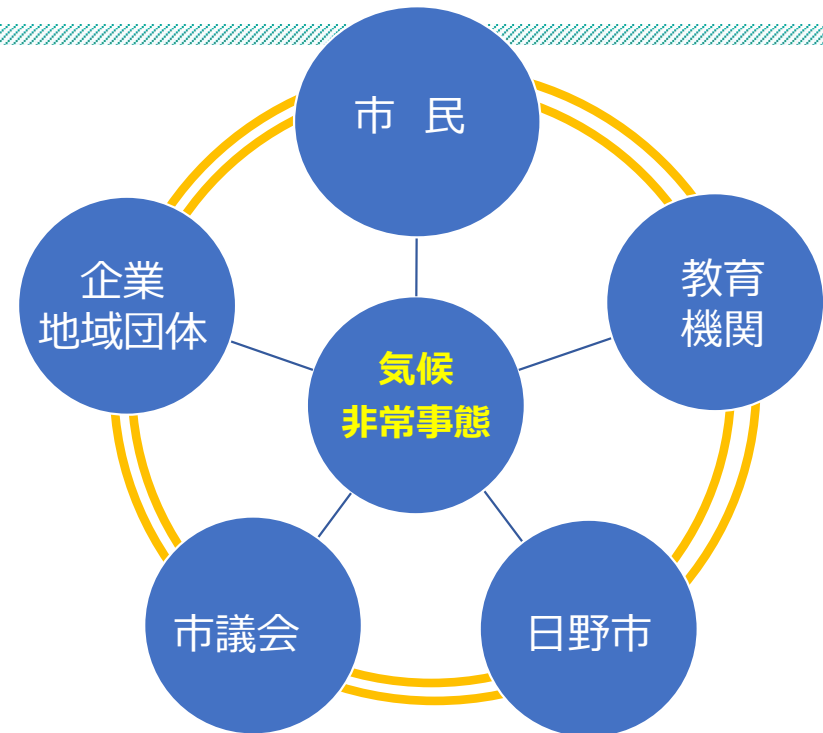
市民も事業者も大学も行政も、地域のパートナーシップで目標達成に向け共創する体制づくり



自治体の計画におけるカーボンニュートラルの目標は、事業所としての目標ではなく、地域の活動の総体としてCO2の排出削減を目指すものであり、住民、事業者、行政それぞれが課題や目標を共有し、協調する地域体制を作らなければ、その目標は実現し得ないものです。

また、気候変動の影響は社会全体の問題であり、人類共通の課題です。

脱炭素の取組の具体化に向けて、それぞれが「自分事」として取り組み、また、それぞれの知見や資源を持ち寄り、協調して気候問題に取り組む体制づくりを目指します。





気候市民会議を日野市と社会を変えるアクションに！

日野市の「**諸力融合**」（地域の様々な力を合わせて困難な社会課題に取り組む）の体制で気候変動に取り組み、40名の議論から持続可能な社会をめざし、日野市と社会を変える、気候変動に対応するアクションを起こしていきましょう！

これまでの市の会議のイメージ



その課題の関係者等が集まり、行政の計画や施策に対する意見を聞く

気候市民会議のイメージ



学び、課題を共有し、様々な立場・視点から議論し、それぞれが協調して取り組む地域体制